

# 「個」と「共有」めりはり

水戸市 藤江さん邸



シンプルに整えられ広々としたリビングでくつろぐ藤江さん一家

水戸市のJR赤塚駅前の大通りに、大きなつうの四角いブロックを組み合わせたような、モダンな建物が目を引く。水戸市河和田の藤江剛さん（44）、理恵さん（44）が、高校2年の長女、中学3年の長男、小学6年の次女、と住まう鉄筋コンクリート造の階建て。コンクリートの強みを生かしながら、シンプルにコーディネートされた大人の暮らしとく、子どもたちと家族との団らんを実現している。

大通りを背にし、中庭を囲むようにしたL字型の住宅。外壁はコンクリート打ちっぱなしで重厚感のある

存在感を放つ。杉板を型枠に使用し、木目模様を転写された表情を持ち、温かみを感じる造り。特徴的な外観は、一級建築士である藤江さんが建築への思いを込め、駅前の景観と調和し街並みを形成する建築になるよう意識した。通りに面した玄関側は窓がなく、周囲の視線や騒音が気にならない機能性も備える。

竣工は2018年2月。家庭をを持った当初から、子どもに個別の時間や場所が必要になる時期に合わせ、住居の新築を考えていたという夫婦。家族のつながりを大切にしたいと、極力扉や仕切りを設けない開

放的な造りにし、1階には家族が集えるリビングダイニングキッチンと客間、パントリーを設け、2階にはプライベートな過ごし方ができるようにと3人それぞれの子とも部屋と主寝室がある間取りにした。一家の中心に位置づけたのは、白を基調に整えられた24帖で奥行きのあるリビングダイニングキッチン。テレビやソファを設け、家族が集まる憩いの場だ。堅牢な鉄骨コンクリート造りだからと、内部に柱を設けず広々とした空間を実現できているという。

壁との建具や収納の扉には枠がなく、壁と同化するような収まりで、一見して建具や収納の存在がわからないすっきりとした空間が広がる。無駄なものを含んだシンプルなものに心を惹かれるという藤江さんのこだわりだ。「住み続けても飽きこない雰囲気が入っていて、日々過ごす中でもときめきがありませ。居心地のよい空間で、ずっと前から住んでいるような感覚です」と待望の出来た。

2階に浴室や脱衣室、洗面室といった水回りをひとまとめにして配置。すべ向かいにファミリークローゼットや部屋干しスペース、バルコニーがつながり、家事が簡単な動線にした。クローゼットと部屋干しスペースで家族全員の衣服を一括で管理し、各自が必要に応じて持たすようにしており、子どもたちの自主性を育むのにも役買っているそうだ。

子ども部屋は、ベッドと遊び付きのスタディーカウンターを配置した

4・3帖と小ぶりの個室を横並びに3室。「こもりがちになって欲しくないで、居心地がよすぎないようにしました」と藤江さん。構造に影響なく取り壊しができる壁を採用しており、子どもたちが果立った後の改修にも配慮した。

個室で思い思いに過ごす時間がある一方、子ども同士の個室の行き来やリビングに集まる時間が多いという仲睦まじい藤江さん一家。藤江さんは「子どもたちが大きくなり、それぞれの時間が増えてきたので、家族の時間を大切にしながら、今後も見守っていかたい」と温かまなざしで語ってくれた。



重厚感あるモダンな外観が目をも引く(西川公明撮影)

- データ
- 着工＝2017年6月
- 竣工＝2018年2月
- 敷地面積＝73.7坪
- 延床面積＝48.1坪
- 設計＝e do design 一級建築士事務所
- 施工＝関根工務店